

2017 年 4 月 5 日

CVIT 会員 各位

日本心血管インターベンション治療学会
理事長 中村 正人
レジストリー学術小委員会 委員長 天野 哲也

2016 年度施設訪問によるデータ照合（Audit）についての報告

平素より日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）の登録事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

当学会では、会員の先生方から入力していただいておりますデータの質を担保するため、施設訪問によるデータ照合（Audit）を一昨年より実施しております。具体的にはランダムに選定した施設に担当者が赴き、入力データと診療記録との照合を行なっております。その目的は、以下の三点としております：

- ① システム上で改善できる点や入力を誤りやすいポイントなどを探索する
- ② 診療記録の照合を行い、入力されたデータの整合性を確認する
- ③ データを入力されている現場のご意見を直接伺いする

CVIT 内の各データベースが会員の先生方、さらには社会全体から広く信頼されることに繋がるようこちらの作業を進めさせていただいております。

なお、2016 年度に計 10 施設で実施された Audit 内容に関して、以下の通り周知させていただきます：

- 数施設で第一術者・指導者の記載で齟齬がみられました。こちら今後専門医制度の充実に伴い、カルテ上に明確な記載が求められることが予想されておりますのでご注意ください。
- 一施設で患者背景等の項目に一貫したエラーが認められ（例. すべての既往歴が「不明」等）、修正 並びに 他の症例での確認をお願いしております。
- 一施設で院内死亡など【重要な患者アウトカム】について、登録内容とカルテ記載内容に齟齬を認め、修正 ならびに 他の症例での確認をお願いしております。

CVIT のデータベースは今後も 保険委員会と外科系学会社会保険委員会連合との折衝、学術委員会、専門医認定医制度審議会等で建設的に使用されていく予定です。

どうか皆様の継続的なご理解とご協力のほどを何卒よろしくお願いいたします。

以上